



令和6年
(2024年)

2

そうごう 総合センターだより

かわにし そうごう かわにしりん ぼ かん かわにし じ どう かん
川西市総合センター(川西隣保館・川西児童館)

かわにし ひ だか ちやう ぼん ごう
川西市日高町1番2号 ☎072(758)8398 Fax 072(758)2132



しんさい きやうくん
震災を教訓に
さいがい じんけん
災害時でも人権が
そんちやう
尊重されるために



総合センターでの
こども防災体験教室

各地で大きな災害が発生し、避難所などが開設されています

しんねん むか ひ おお じしん の とはんとうしやうへん こういき はっせい はな かわにし しん ど
新年を迎えた日、大きな地震が能登半島周辺の広域にわたり発生し、離れた川西市でも、震度3
の揺れを観測しました。徐々に被害の状況が明らかとなり、200名以上の方が亡くなる甚大な被害
が発生しています。振り返ると、川西市では、1995年(平成7年)1月17日、阪神・淡路大震災に見
舞われました。淡路や神戸、西宮、芦屋、宝塚、伊丹などでの大きな被害とともに、川西市では4名
の方が亡くなられ、家屋では、全半壊が3,282棟、市内に、420戸の仮設住宅が建てられ、市内の
被災者だけでなく市外からの被災者も身を寄せていました。(阪神・淡路大震災 川西市の記録より)

阪神・淡路大震災から29年、まずは地域の防災訓練に参加しませんか

しんねん にっぽんかくち おお さいがい はっせい しんさい きやうくん とりく かつどう
近年、日本各地で大きな災害が発生していますが、震災を教訓とした取り組みやボランティア活動
などが全国に広まり、被災者の生活再建を支援する制度も、見直されながら整備されてきました。た
だ、災害時における課題は、災害の種類や被災状況、場所等により異なっています。

おお かた み よ ひなんしよ しやう しゃ こうれいしゃ じよせい こ かた きび
多くの方が身を寄せる避難所では、障がい者や高齢者、女性、子ども、LGBTの方などが、厳しい
状況下に置かれているほか、東日本大震災での原子力発電所事故に伴う風評にもとづく偏見や
差別は今なお懸念されています。

かわにし しな い じしゅぼうさい そしき ひ さいがい そな しやう かくんれん あんぴ かくにん ひなん た
川西市では市内の自主防災組織が、日ごろから災害に備えて、消火訓練や安否確認・避難・炊き
出し訓練などを行い、総合センターでも夏休みに、こども防災体験教室を開いています。

みな きかい ちいき くんれん となりどうし こえ か あ さんか ばめん じんけん
皆さんも、この機会に、地域の訓練に、お隣同士、声を掛け合い参加し、どのような場面で人権に
関わる問題が起きるのか、災害時にはどうすればそのような差別を防げるのか 考えてみませんか。

そうごう
総合センターだよりは、読みやすいフォント「UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体」を使用しています。